

○蓮舫代表で、民進党の新たな挑戦

新代表が決まりました。

情報の発信力のある蓮舫さんは、私たち民進党が何をしたいか、しっかりアピールしてくれます。党内で、政策課題を煮詰めて、安倍政権の政策に対し、対案を作ること。それを基に、私たちがリードして、野党勢力をまとめて、国民に対して、もう一つの選択肢を示していくことだと思っています。がんばります。

○ミャンマー和平に向けて

少数民族との和平交渉が具体的に進み始めたミャンマーに、UNFC(少数民族の交渉団体)サイドの話を聴き取って欲しいということでタイのチェンマイとヤンゴンを訪ねました。和平が成立しても、軍の理不尽な介入で戦闘が再開されて和平が何回も破られてきた過去の歴史があります。少数民族の指導者達はもちろん、政権の担当大臣にも、和平後の監視団の重要性を説いています。現状では、中国だけが和平に干渉している中で、日本やアメリカ、ヨーロッパなどの西側諸国も和平の監視団として位置付けるべきだと、進言しています。

タイや中国、バングラデシュなどと国境を接する少数民族の山岳地帯は、麻薬のケン栽培からどのように脱却できるか、ヒスイやベツ甲、金、銀、寡少金属などの豊富な地下資源の採掘権益を巡って活動する様々な勢力をどのように調整するか等、複雑な問題を抱えています。

日本で生活する難民の人々もアウンサン・スー・チーが政権をとったことで、母国の民主化に期待を膨らませています。

○北朝鮮の人権救済を再び

共同議長をしている「北朝鮮の難民と人権に関する国際議員連盟(IPCNKR)」の総会に出席しました。今年で13回目、韓国のソウルで開かれました。ミサイルや核の問題だけでなく、狂気に走る金正恩の側近の処刑などが報道され、総会で報告された北朝鮮国内の人権抑圧の現状分析に、会議では、緊迫した空気が流れました。

会議参加各国で、北朝鮮に対する制裁を含めた人権法を成立させようという課題は、アメリカ、日本に次いで、韓国で、やっと本年3月に成立しました。この会議で発案され、原動力になって成立したことを、うれしく思います。

○大東島は、過疎を跳ね返す元気な島

離島での教育に、ICTが活かされていると聞いて、沖縄の北大東島に行ってきました。那覇から、プロペラ機で太平洋に向かって飛ぶこと1時間。海の底から山が突き出て、その頂上が二つ、果てしなく続く大海原に南大東島と北大東島がぽっかりと浮かんでいます。南大東村は人口1500人、北大東村は人口500人。子供たちは、小学校と中学校をこれらの島で過ごした後、沖縄本島の高校に進学します。「15の春」という映画の舞台にもなりました。

北大東村がインターネットを使って、東大現役学生の講師による「東大塾」を運営しています。大画面のテレビに映る講師と、子供たちの双方向のやり取りで進められる授業は、東京とこの島の距離をすっかり忘れさせる迫力があります。学校の中でも、生徒1人ひとりの使うタブレットは、授業の中にすっかり溶け込んで「馴染みの道具」と化していました。学力は?「もちろん、沖縄でもトップクラスです。」と、教育長さんが胸を張ります。

サトウキビ、カボチャとジャガイモの輪作農業。海は、マグロとシイラの一本釣り。村営の月桃の加工場も見せてもらいました。今は、120億かけて進む港工事を中心とする公共事業と離島に対する交付金が島の経済を支えています。人口減少にも打ち勝っています。「島に帰る若者のために、賃貸住宅を準備すること。今年は、若い漁師が2人帰ってきます。」と説明する村の産業課長さんの目が輝いていました。

○政策セミナーの開催

11月7日(月)午後5時より四日市都ホテルで恒例の政治経済セミナーを開きます。今回は、元日本銀行理事で富士通総研のエコノミスト、早川英男氏に、日本経済の行方をご講演願います。私からも今後の国会におけるチャレンジをお話したいと思っております。

また、毎年このセミナーへのご協力で、私の政治資金を支えていただいております。心から感謝申し上げます。今年も沢山の皆様のご出席をお待ちしております。

○日帰り旅行のご案内

「愛知県 日間賀島、タコ料理とめんたい工場見学の旅」
10月26日(水)

31日(月)(※亀山後援会主催)

お申込み・詳細は、下記までご連絡ください。

電話 059-381-3513 または 381-3515